

# 今、何の病気が流行しているか！

## 【感染症発生動向調査事業から】

平成29年5月8日（月）～平成29年5月14日（日）〔平成29年第19週〕の感染症発生状況

第19週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。

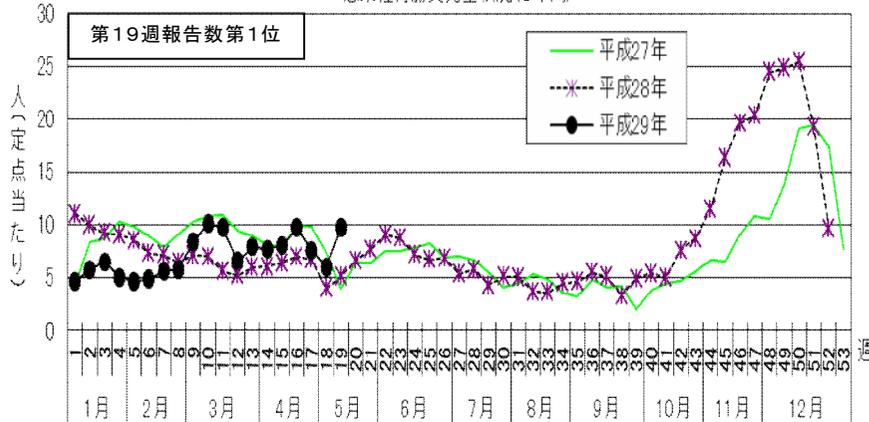
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.69人と前週（5.97人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.81人と前週（2.37人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。

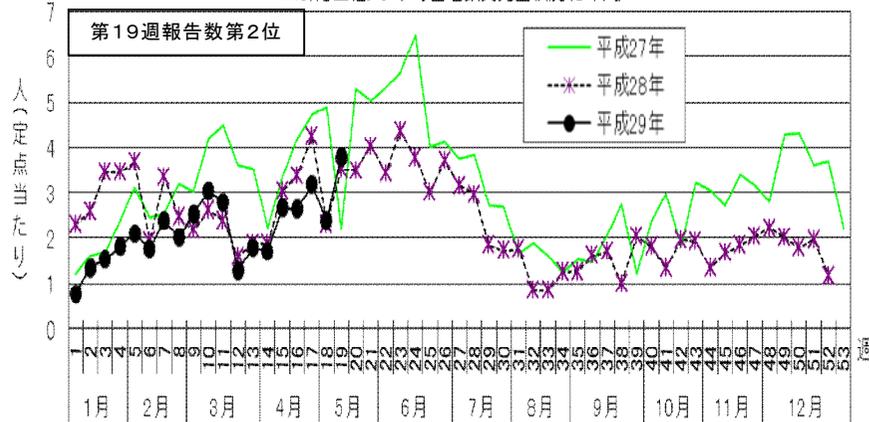
流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.89人と前週（1.56人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



## 気を付けたい感染症～A群溶血性レンサ球菌咽頭炎～

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、冬季及び春から初夏にかけて流行がみられる上気道感染症で、A群溶血性レンサ球菌を原因とします。

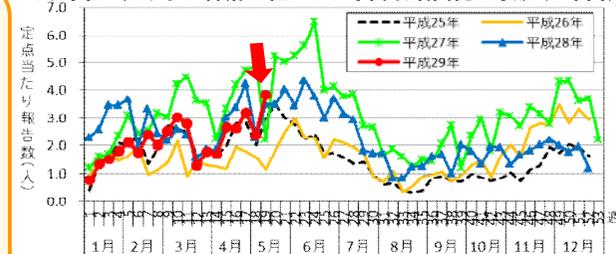
川崎市においては、3月下旬以降患者報告数が増加しており、第19週（平成29年5月8日～5月14日）の定点当たり患者報告数は3.81人でした。例年、6月頃に流行のピークを迎えるため、引き続き患者数の増加が予想されます。年齢階級別では、就学前後（4～7歳）の小児で報告が多くなっていますので、集団施設等で感染を広げないためにも予防対策が重要です。

### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは？

- 感染経路  
接触感染、飛沫感染
- 潜伏期間  
2～5日間
- 主な症状  
突然の発熱、全身倦怠感、咽頭痛、  
莓舌（イチゴのように赤くポツポツした状態）、  
体や手足に小さくて紅い点状発疹
- 合併症  
猩紅熱、リウマチ熱、急性糸球体腎炎等
- 治療法  
抗菌薬の投与
- 予防対策  
患者との濃厚接触を避ける、手洗い等



川崎市におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(5年間)



川崎市におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎  
年齢階級別発生状況(平成29年第1週～第19週)

